

令和元年度 飯田小学校 学校評価だより

(中間結果報告)

令和元年10月23日

《学校教育目標》

心をあわせ、はつらつと、学びの道にいそしむ児童の育成

令和元年度前期の学校評価として7月に実施した児童・保護者・学校職員の三者によるアンケートをもとに、子ども達や保護者の皆様の意見をまとめました。後日、学校関係者評価委員の皆様にもその結果をお知らせしました。そこで頂いた意見も含めて、今年の重点項目を中心に学校改善の指標として中間評価を行いました。

(1) 学力向上を達成する。国語科・算数科を中心に。

学校で学ぶことは楽しい…回答 93.5%

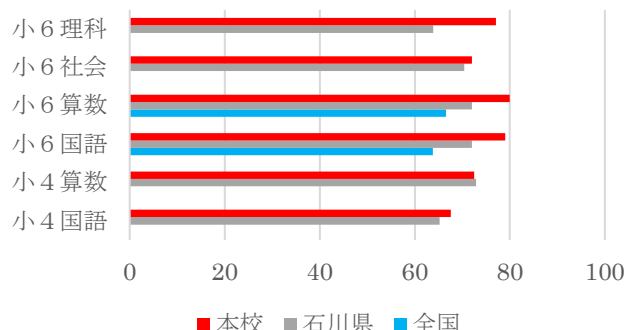
学校で学ぶことについての質問で、肯定的回答が児童・保護者ともに高めです。

児童:「学校で学ぶことは楽しい」…低学年100%・高学年87% 平均93.5%

保護者:「お子さんは学校へ意欲的に登校していますか」…96.1%

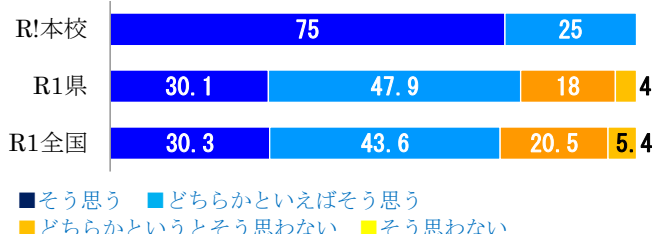
全般に児童の回答は肯定的傾向が強く、子どもたちは意欲的に学んでいるとみられます。子どもたちの自己肯定感の高さは、県や全国的傾向と比較しても高いのですが、それだけに数名の否定的回答が気になります。個別の指導も大切にしていきます。

4・6年生学力調査結果



6年生は質問紙調査で以下のような回答をしていました。

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



(2) 全児童が自己肯定感や有用感を持てるようにする。(いじめ・不登校未然防止)

友達の悪口を言わなかった…児童 92% 友達が困っていたら進んで助ける…児童 92%

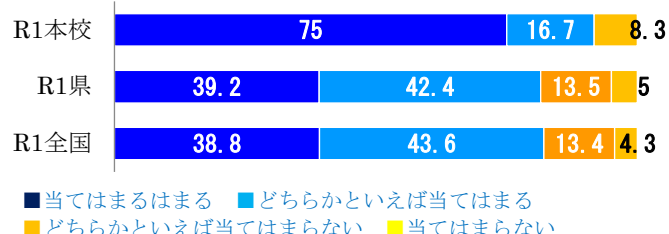
新入生と仲良くなるためのお花見集会からスタートし、委員会による様々な「仲良くなろう会」の企画や道徳の授業を通じて、人間関係づくり、コミュニケーションの大切さを考え行動する力の育成を進めてきました。また、「間違えたら直せば良い」を合言葉に、間違いを生かす授業や生活態度での指導の実践も取り組んできました。

児童のアンケート結果は、上記のように肯定的回答が高めです。自己肯定感や有用感についても、児童の活躍の場を確保したり、児童の頑張る姿を認めたり、児童同士で認め合う場を作ったりしていることで、高い児童が多いです。また、高学年が頑張る姿を見て、あんな高学年になりたいと思っている低学年もいて、共に成長することにつながっています。今後も、自分も友達も大切にできる子ども達を育てていきたいと思っています。

学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めていると思いますか。…保護者97%

6年生は質問紙調査で以下のような回答をしていました。

自分には、よいところがあると思う。



(3) 人材育成を図る。

指導改善につながる校内研修となっている。(校内研修の充実)…教職員 100%

石川県全域で教職員の年齢構成が大きく若返っています。本校でも、ここ数年で職員が大きく変わり、教職経験の平均年数は下がっています。児童の学力向上のためにも、職員の授業力の育成は大きな課題です。そこで、校内研修会や授業実践指導を通して、授業力育成の取組を重ねています。

(4) 業務改善を進める。

学校評価重点目標【業務改善】

月当たりの時間外勤務時間を、60時間以内にする。80時間を超える職員を0にする。…評価A

4～7月期における月当たり時間外勤務60時間以内のべ人数 41/43人中 95.3% [4～9月平均1人]
60～80時間 2/43人中 4.7% [月当たり31.8h]

昨年度より継続して、目標を県教委提示のものより上げて、時間外勤務-月60時間以内とした。昨年度に続き、正規級外教諭が配置されているため、目標が達成されているという見方もできます。また、校務分掌が比較的バランスがとれ、偏ったものにならなかったことも大きいです。これまで当然取り組むべきだと思われるものに対し、改めて意義を問い、継続・発展・削減のいずれにするのか検討することが必要です。

第1回学校評議員会・学校関係者評価委員会報告

9月6日(金)に、学校評議員の村田良和様、関原敏郎様、緑丘中学校 牧宜伸様、山口彰PTA会長様、川東敬子母親代表様に来校していただき、ご意見・ご感想をいただきました。ご意見をもとに、よりよいものに改善していきます。ありがとうございました。主な意見を紹介いたします。

いじめぼくめつ
缶バッヂデザイン



①児童や職員の様子

- 先生1人で子どもたちの様子を目配りしてくれている。子どもたちは、先生の話聞いていた。
- 1年生がちゃんと座ってやっていた。
- 今年は全体的におとなしい授業の様子であった。もっと元気な姿もみたかった。
- 授業を受ける態度は、どのクラスにおいても皆まじめに取り組んでおり、やはり、それが平均を上回る学力につながっているのだと感じた。
- 今の子どもたちは、マナーなど家庭で教えられていないこともある。先生方も気が付いたら、教えてやってほしい。大人もできなくなっている。
- 給食に多くの野菜が入っていて、とてもいい。子どもたちも、野菜をよく食べている。
- 先生方の顔ぶれが変わってしまっていてビックリでした。これまで築いてこられた「飯田小」の良さを、新しい先生方にも引き続けていただきたい。

②中間評価から

- 保護者は家庭での児童の様子が見えすぎて、厳しい評価になってしまうのだと思う。
- 先生方の努力、児童の素直に楽しんで学校へ来ている結果が、大半Aの評価につながっていると感じます。一方で、PTAの重要な役割である家庭教育が不十分で、D評価が出てしまった。うちもそうですが、共働きが増え、家庭での子どもたちとの時間が減っているなか、コミュニケーションをしっかりとる事と、PTAからも各家庭に色々話をする機会があるとよいですね。
- 「家庭生活の約束」では、子どもだけでなく、私たち親自身がそれに取り組む意識が薄いため、子どもへの声掛けや協力が足りなかったように思い、大変反省した。子どものことを思ったら、やはり親から頑張らなければ子どもは育たないと改めて思う。

③その他

- いつ見ても、うつくしい“グラウンド・校舎”だと思います。
- 先日ケーブルTVで飯田小学校の児童が栄町有志の方々のお世話される水田での稲刈りの様子が放映され、見ました。私はこの年になって田植えや稲刈りを経験したことがないので、「みんな、いい経験しているなあ」と思います。
- ランチルームでの給食が新鮮でした。

学校評価 (中間結果)

【学びが楽しい学校づくり】	A	(昨年中間B)
【主体的に課題解決する児童の育成】(学校研究)	B	
【家庭学習の確立】	B	(昨年中間D)
【道德教育の充実】	A	
【規範意識を高める】	A	(昨年中間B)
【特別支援教育の充実】	A	
【自己健康管理能力の向上】	A	
【家庭・地域との連携協力体制の確立】	D	(昨年中間B)
【学習環境の整備・校内環境美化】	A	
【業務改善】	A	

「お子さんは「家庭生活」の約束(重点目標)を達成することができましたか。」の保護者の肯定的回答は62%でした。そのため、D評価です。児童と保護者との肯定的評価の差も大きいです。この結果を共有し、2学期以降、意識して取り組んでいくための声掛け啓発が必要です。